

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)							
事業名	踏切対策促進のための連続立体交差事業の効率的な推進方策検討調査		担当部局庁	都市局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H25		担当課室	街路交通施設課		課長 清水 喜代志	
会計区分	一般会計		政策・施策名	8 都市・地域交通等の快適性、利便性の向上 29 道路交通の円滑化を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	踏切の抜本対策は、大規模な事業であり、対策が必要な箇所を重点化しても、なお昨今の地方自治体の財政状況から踏切対策が進まないことが危惧されるため、コストの縮減と費用負担のあり方、踏切対策の効率化の観点から、持続可能な踏切対策の推進方策の検討を行い、踏切対策の早期化、効果の早期発現を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	連続立体交差事業の1事業あたりの事業費は、近年増加傾向にあり、事業の早期化へのコスト対策の重要性が高まっているため、詳細な事業費構造の分析からのコスト縮減方策の検討、コスト縮減方策のケーススタディ等を通じ、効率的な踏切対策の検討を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算				26	
		繰越し等					
		計				26	
	執行額						
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	踏切利用者の安全な歩行者空間の確保		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	踏切対策促進のための連続立体交差事業の効率的な推進方策にかかる資料集の作成		活動実績 (当初見込み)	-	-	-	-
				()	()	()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	道路交通円滑化推進調査費	26	-				
	計	26	-				

事業所管部局による点検															
		項目	評価	評価に関する説明											
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・踏切による交通渋滞や事故等の解消を図るため、連続立体交差事業等を推進するに当たり、全国の事例を基に事業費構造や事業工程の詳細な分析等を行い、事業を効率的に進めるための対策を検討することは、事業費の縮減や事業効果の早期発現等を実現するため、国として進めていく必要がある。											
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○												
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○												
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議予定。											
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-												
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-												
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-												
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-												
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-												
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-												
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-												
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-												
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>			事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名												
点検結果	<p>・過去の調査では、鉄道事業者の事業費が明らかではなく、削減効果を明らかにするなど、詳細なコスト縮減方策の検討は出来ない状況であったが、平成21年に「公共事業における鉄道委託工事を行う場合の透明性の確保の徹底に関する申し合わせ」が発出され、近年、鉄道事業者からの工事に係る費用の提示も改善されつつあり、詳細な調査を実施できる環境が整いつつあるところ。</p> <p>・平成25年度は、詳細なコスト分析によりコスト縮減方策を検討するとともに、コスト縮減方策のケーススタディを行う。</p> <p>・今後は、事業中箇所のコスト縮減を図るとともに、縮減方策を活用した事業の早期化、事業効果の早期発現を推進していくことが重要である。</p>														
外部有識者の所見															
行政事業レビュー推進チームの所見															
<p>本検討業務については廃止することとするが、本検討結果で得られた踏切対策促進のための費用負担のあり方やコスト削減策等を有効的に活用し、各地方公共団体が個々の状況に応じた踏切対策を早期に実現できるよう努めること。</p>															
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況															
<p>本検討業務の成果については、各地方公共団体が個々の状況に応じた踏切対策に有効的に活用できるよう、各地方公共団体の意見をふまえてつとめるとし、早期に踏切対策が図られるよう努めたい。</p>															
備考															
関連する過去のレビューシートの事業番号															
	平成22年		平成23年		平成24年										

国土交通省
26百万円

〔 踏切対策促進のための連続立体交差事業の効率的な推進方策検討調査 〕

【企画競争】

A. 公益法人、民間会社等を予定

〔 連続立体交差事業の事業費構造及び工程に関する情報収集・分析、事業費の圧縮及び事業期間の短縮に向けた課題の整理、必要な方策及び整備効果等についての検討。 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					